



歌おう、踊ろう、奏でよう

7月20日(日)文化福祉センターで第26回有田市芸能大会が行われました。今年は有田少年少女合唱団「ティンクル」がゲストで出演。瑞々しい歌声を披露したほか、音楽やダンスサークルの皆さんも練習の成果を存分に発揮しました。会場に集まった方々も、文化に触れ、心豊かに過ごすことができました。



夜空にひろがる星々の物語

7月29日(火)～31日(木)にふるさとの川総合公園にてスターウォッチングが開催されました。みずがめ座流星群が見られるということで、集まった皆さんはめいめいに空を見上げ、流れ星をさがしていました。また、七夕伝説のお話を聞きながら、伝説に出てくる星々を教えてください、夜空をめいいっぱい楽しむことができました。

ようこそ、日本へ!

8月2日(土)～6日(水)、ドイツのスポーツクラブに所属する皆さんが有田市を訪れました。ホームステイをしながら、スポーツ活動を中心として、文化・生活・習慣を体験する国際交流で、今年で41回目を迎えます。流しそうめんや茶道などの日本文化に触れるとともに、バドミントンやホッケーなどで汗を流し、有田を満喫していました。



第35回紀文まつり
9月15日(月・祝)開催決定!
予備日16日(火)

広報ありだ
まちづくり懇談会 Q&A
2月17日(月)～3月14日(金)の8地区で行われたまちづくり懇談会で、参加いただいた方からのご質問などを紹介します。

Q 有田みかんブランドの推進施策の現状は?

A 本市はみかん生産者が全世界の約10%を占める特別なまちです。農家の皆さんの高品質なみかんが収益に繋がっており、後継者育成にも繋がるといったプラスのスパイラルに持っていきたいと考えています。そのために、国内での販路開拓・拡大はもちろんのこと、原産地呼称管理制度を導入しており、海外への販路拡大も視野に努めています。

Hospital Topics



内科の外来診察が変わります

非常勤医師の増員

検査や画像診断で異常がなく、問題ないと言われても、「なんとなくくだる」「食欲がわかない」などの症状が続いていることはありませんか? そのようなお悩みの方、漢方による診察はいかがでしょう?

患者様の症状とともに、体質を診察することで、一人一人に合わせた漢方薬の処方や、生活習慣の改善などを行っていきます。そのことで病気に対する自己免疫力・自然治癒力を高めることができ、病気を予防することにもつながっていきます。

診察日/毎週木曜日
担当医/重河嘉靖(日本東洋医学会員)
※通常の内科診察は行いません。

9月より内科外来診察に2名の非常勤医師が加わります。毎週金曜日は、和歌山ろうさい病院の細隆信副院長(呼吸器内科)、第2・4火曜日は、同院の中啓吾内科部長(前有田市立病院副院長)が診察いたします。

未来の小児科医

和歌山県立医科大学に在籍している市川貴光先生(有田市出身)が、7月の1ヶ月間当院の内科で研修されました。医学生は医師免許取得後は臨床研修制度があり、いろいろな病院で研修医として経験を積み、その後は医師として勤務します。市川先生は、将来小児科医となるため現在勉強中です。



未来の看護師

看護師を目指す学生(箕島高校1名、耐久高校2名、向陽高校1名、藍野高校(大阪府)1名)が当院で看護師業務を体験しました。病棟での業務の他にも、赤ちゃんの沐浴練習や手術室見学、リハビリのお手伝いもしてもらいました。「赤ちゃんをお風呂にいれるのがこんなに大変だと思わなかった」「TVで見た医療の現場を体験できて、とてもよかった」との感想をもらいました。将来、医療チームの一員として一緒に働ける日を楽しみに待っています。



①手術用の服を試着しました
②カルテの読み方を学びました
③血圧測定の実習中です